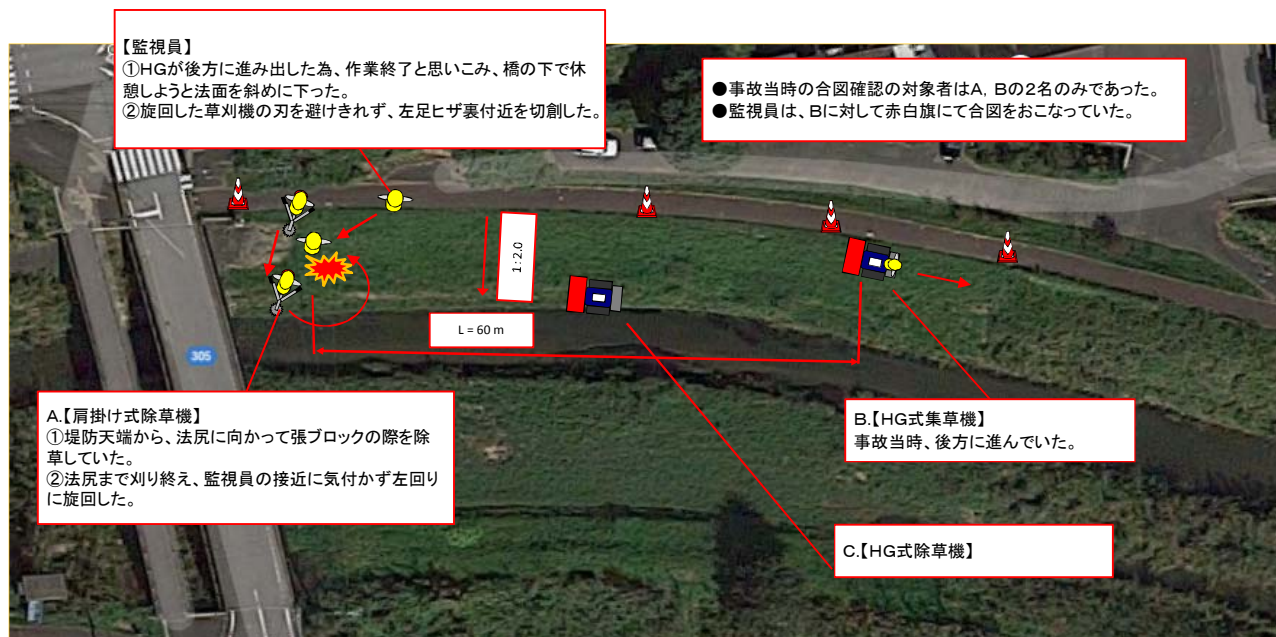


事故種類	労働災害	発生日時	平成27年9月5日11時26分	事故当事者	元請け
事故区分	機器取扱	年齢性別	22歳男性	職種	普通作業員
被災程度(全治)	膝窩動脈損傷、左脛骨神経損傷、左腓腹筋損傷、左膝窩挫創、(全治未定)				
事故概要	張りブロックの際を肩掛け式で除草作業中、除草作業員が法尻まで除草を終え、アクセルを戻した後、左回りに旋回したところ被災者に接触。左足膝裏付近に刃が当たり切創した。 被災者は、除草監視員兼人力集草作業員であり、被災時は監視員として作業を行っていたが、合図対象であるHGが折り返していった為、作業終了と思いこみ、橋の下で休憩しようと持ち場を離れ、法面を斜めに下っていく途中に接触した。				
事故原因等	・監視員が刈払機の作業半径内に背後から不用意に合図無しで立ち入ったこと。 ・監視員が朝礼時の作業指示に従わず、勝手に持ち場を離れた為。				
改善策等	・刈払機の作業半径内に作業中絶対に立ち入らないようにするため、紅白ポール、カラーコーン等で作業範囲の区分を明確にする。 ・打合せ等のため、刈払作業中の作業員に近づくときは、あらかじめ呼び等にて合図を行い、作業員がエンジンを停止し、刃が完全に止まった事を確認してから近寄る。 ・合図方法を一本化し、各作業の基本遵守事項と共に掲示板に明記する。 ・監視員がやむを得ず持ち場を離れる場合には、一旦監視対象となる全作業を中断させる。 ・刈払い作業中に方向転換を行う場合には、周囲の安全を十分に確認してから行う。				
類似工事(他工事)へ活用できる対策等	・一般作業員と機械が混在している現場での安全対策に活用。 ・刈払機や除草機械の作業半径内に立ち入らないよう安全教育に活用。				

事故状況図



改善策



刈払機作業中の作業半径内に立ち入らないようにするため、紅白ポールを設置して各々の作業範囲を明確にするよう改善。



合図方法を一本化し、各作業の基本遵守事項と共に掲示板に明記する。
また、日々の安全教育、周知確認を継続しておこなうよう改善。

